

平成27年5月29日

各位

長期使用住宅部材標準化推進協議会  
平成27年度活動内容（概要）について

長期使用住宅部材標準化推進協議会  
会長 平田 俊次

長期使用住宅部材標準化推進協議会は本年5月21日の平成27年度定時総会において平成26年度の事業報告と平成27年度の事業計画について決定した。以下、その概要を記載する。

1. 平成26年度の事業報告（概要）

(1) 長期使用対応部材の標準化

15品目：「窯業系サイディング(さね有り)」「内部建具 洋開き戸(扉厚)」「収納金具 棚柱」「収納金具 ブラケット」「暖房便座」「サッシ用網戸の網(合成樹脂)」「雨戸パネル用落とし錠(レールタイプ)」「住宅用上げ下げ窓のクレセント」「勝手口ドアのクローザ(水平面取付け)」「勝手口ドアのクローザ(垂直面取付け)」「内部建具 折戸用建具(木製) 吊金具」「内部建具 折戸用建具(木製) 吊金具(アウトセット)」「外部換気口部品」「ビルトイン用IHクッキングヒーター」「ビルトイン用ガスコンロ」の基準書が承認された。

(2) 標準化・共通化ガイドラインの改訂

現状の標準化手順との整合性を表現するために「長期使用住宅部材標準化・共通化ガイドライン」の改定が承認された。

(3) 共通化部材使用表示事業分科会

- ① 基準書作成要領の改定が承認された。
- ② C j Kマーク表示推進について検討。
- ③ C j Kマーク利用細則の見直し。
- ④ C j K部材取扱状況アンケートを実施。

(4) 広報分科会

- ① 平成26年5月22日記者発表実施
- ② JAPAN DIY HOMECENTER SHOW2014に出展
- ③ HP上でのC j Kマーク表示商品紹介
- ④ 長住協メールマガジンの発行

(5) 運営委員会・DIYワーキング

C j K部材普及の為の業界連携推進上の受け口としてワーキングを発足。

- ① JAPAN DIY HOMECENTER SHOW2014に出展
- ② DIY協会HCリフォームニュースに記事掲載
- ③ ホームセンター企業訪問
- ④ ホームセンター訪問・現場責任者ヒアリング実施
- ⑤ 賛助会員（ベンダー）ヒアリング実施

(6) 正会員・賛助会員の入会

賛助会員6社：(株)屋根技術研究所、ケージーパルテック(株)、安田(株)、(株)ムラコシ精工、(株)テンサン、(株)ウエストの入会が承認された。

(7) C j Kマーク利用申請

3社：(株)岩福セラミックス、(株)ウッドワン、近畿セラミックス(株)よりマーク利用申請書が申請され、承認された。

(8) 共通化部材選定分科会

- ① メンテナンス担当者向け困りごとアンケート調査を実施し有効回答数591件の情報から作成した集計表及び生データを各共通化分科会にフィードバックした。
- ② 過去調査における選定対象部材686品目からTOP30の部材209品目を特定し各共通化分科会に情報提供した。

(9) 躯体・外装共通化分科会

- ① サイディングWGと外部換気口部品WGでそれぞれ1部品（サイディング、外部換気口部品）標準化した。
- ② 太陽光発電WGで太陽光発電架台金具支持材（スレート）の基準書案を作成した。

(10) 外装開口部共通化分科会

- ① 5部品（サッシ用網戸の網、雨戸パネル用落とし錠、住宅用上げ下げ窓のクレセント、勝手口ドアのクローザ水平面取付、同垂直面取付）を標準化した。
- ② 関連団体の（一社）日本サッシ協会、ドアクローザ工業会との連携を図った。

(11) 内装・内部建具共通化分科会

- ① 収納部材WGは1部品（収納フック金物）の標準化、折戸用センター丁番の基準書見直し、及び玄関収納の樹脂棚板アンケートを実施した。
- ② 内部建具WGは1部品（洋開き戸）の標準化、レバーハンドルケース錠の基準書を見直した。
- ③ 新規に立ち上げた内部折戸WGは1部品（折戸用木製建具吊金具）を標

準化した。

(12) 設備共通化分科会

- ①キッチンWGとトイレWGにおいてそれぞれ2部品（IHクッキングヒーター、ガスコンロ、温水洗浄便座（シート型）、暖房便座（シート型））標準化した。
- ②浴室WGは調整がつかない2部品（天井付換気扇、電気式浴室乾燥機）をペンディングとし、浴室用シャワーホースを（一社）日本バルブ工業会と連携しながら進める。

2. 平成27年度事業計画（概要）

(1) 部材共通化基準整備事業

- ①標準（共通）化評価委員会及び各事業分科会の活動を継続支援する。
- ②新たな標準化部材選定の為に住宅関連業界団体との連携を図り情報を収集する。

(2) 普及・啓発事業

①共通部材使用表示事業分科会

- 1) C j Kマーク利用状況調査票の回収と報告を行う。
- 2) C j K部材の具体的な採用への働きかけと状況調査の実施を行う。
- 3) 使用表示関連様式の改定と整備を行う。

②広報分科会

- 1) 平成27年度定時総会後の記者会見の実施
- 2) 平成28年度定時総会後の記者会見に向けた諸準備
- 3) 協議会活動のPRを行う。
- 4) 長住協ホームページへの表示関連コンテンツ作成及び啓発活動を行う。

③普及・啓発の展開

- 1) 広報分科会に普及ワーキングを設置し、DIY業界との連携強化を推進する。
- 2) ホームページ、メールマガジンの活用により活動内容を広く発信し推進する。

④住宅関連業界団体との連携強化を推進する。

(3) 共通化部材選定分科会

- ①平成26年度メンテナンス担当者向け困りごとアンケートの詳細分析を行う。
- ②ホームセンターを対象とした新規調査を行い標準化すべき部材を抽出する。

- (4) 躯体・外装共通化分科会
  - ①太陽光発電架台金具支持材（スレート）の基準書を完成させ標準化する。
  - ②アンケート結果より新規部材を抽出し新規部材WGで検討を進める。
- (5) 外装開口部共通化分科会
  - ①アンケート結果をベースとした新規テーマの検討と既存基準書の見直しを実施する。
  - ②関連団体との連携を継続し、啓発活動の更なる活性化を図る。
- (6) 内装・内部建具共通化分科会
  - ①収納部材WG、内部建具WGは継続テーマを早期に標準化し新規テーマの検討を行う。
  - ②4月分科会でアクションプログラムを策定し新規部材の標準化を推進する。
- (7) 設備共通化分科会
  - ①継続テーマ3件（食器洗い乾燥機、浄水器用水栓、浴室用シャワーホース）の早期標準化を関連団体と連携しながら最優先事項として推進する。
  - ②新規テーマはアンケート結果だけでなく設備共通分科会の視点を絡めて抽出する。

以上